

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	静脈表在化併用動静脈瘻作製術 (arteriovenous fistula creation combined with venous superficialization: AVF-VS) によるバスキュラーアクセス (VA) の有用性 [倫理審査受付番号：第 2933 号]
研究責任者氏名	倉賀野 隆裕
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2018 年 5 月 24 日 ~ 2029 年 4 月 30 日
研究対象疾患・診療科名	疾患名：慢性腎臓病（維持血液透析）/ 診療科名等：腎・透析科
研究対象期間	西暦 2014 年 5 月 1 日 ~ 2018 年 4 月 30 日
研究に用いる試料・情報の種類	試料等 カルテ情報（診療の過程で取得） アンケート その他（ ）
研究目的・意義	血液透析用 VA において、従来の自己血管内シャント（動静脈瘻作製：AVF）*に穿刺部位の作製（静脈表在化：VS）**を組入れた方式「静脈表在化併用動静脈瘻作製術（AVF-VS）」の有用性を検討します。[AVF*とは、上肢の動脈と静脈をつなぎ合わせる方法です。VS**とは、深い位置にある静脈を皮膚直下で固定する方法です。]
研究の方法	血液透析導入時および VA 再建時に AVF-VS を実施した患者さんを対象とします。AVF-VS の開存性（使用状況、血栓閉塞・血管狭窄の発生）と安全性（合併症の発生）について追跡調査します。
外部への試料・情報の提供	本施設から外部への情報の提供はしません。研究協力施設から提供された情報は、電子データとしてセキュリティ - 管理機能を有する USB メモリ - によって保存され、特定の関係者以外がアクセスできない状態とし、当科で施錠保管されます。
研究組織	・兵庫医科大学 内科学 腎・透析科 ・独立行政法人労働者健康安全機構 関西ろうさい病院 内科（腎臓）研究責任者：末光 浩太郎
個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する連絡先	診療科名等：循環器・腎透析内科 担当者氏名：名波 正義 [電話]（平日 9 ~ 17 時）0798-45-6521 （夜間・休日）0798 - 45 - 6522